

令和4年度 第2回山城地方 学力向上対策会議 を開催しました！



令和4年度第2回山城地方学力向上対策会議を開催し、「家庭学習を充実させる取組」についての交流の他、山城地方学力向上の取組についての確認を行いました。

- 1 日時 令和4年7月5日（火）午後3時から同4時45分まで
- 2 場所 京都府田辺総合庁舎保健所棟 講堂
- 3 出席者 山城地方学力向上対策会議員 23名
- 4 概要

各市町（広域連合）教育委員会管内での「家庭学習を充実させる取組」について交流しました。

大切にしたい視点など

- ◇学習習慣を身につけることを目指す
- ◇基礎学力の定着を目指す
- ◇家庭学習の意欲や課題設定につながる授業づくり
- ◇自己調整しながら家庭学習に取り組ませる

家庭学習に関する具体的な取組

- ◇基本の宿題は漢字練習・算数プリント・音読・リコーダー＋自主学習
- ◇漢字学習において思考を伴うものや語彙を増やす取組（言葉しらべ等）
- ◇いつでも好きな時にとれるプリントの用意
- ◇「小学生から宿題が出るのを楽しみにしている」という保育園の報告を踏まえ、入学式の次の日から宿題を開始している。
- ◇小テストの勉強を週末の課題とする
- ◇教職員の間で宿題に対する考え方を統一

！人！台端末の活用

- ◇地域により、オンライン・オフラインによる持ち帰りを定期的実施
（ドリルシステムの使用、音読・英語スピーチの録画等）
- ◇情報モラルやルール等、家庭への啓発内容を検討（家庭での使い方について）

自主学習について

- ◇自主学習の手引き（時間・方法・内容）の活用
- ◇学校であらかじめ取り組む内容を決めさせる
- ◇自主学習期間・週間・曜日の設定
- ◇自主学習の優秀なノートの掲示、表彰、ランキング（番付）、励ましのカードの使用など学習意欲を高める取組を実施



授業との効果的なつなぎ

- ◇自主学習において、自ら課題・問いを設けることにつながる「授業の振り返り」を充実させる
 - ・興味関心から
 - ・苦手意識から
 - ・答えのない問いを提示
- ◇授業と家庭学習を一体的に捉えた単元指導計画

教育委員会の取組

- ◇教育研究員・学力向上研究部担当者（研究員）と指導主事とで実践・検証
- ◇教育局の指導主事を招聘しての研修
- ◇実践を管内に広げていく方法を検討
- ◇児童生徒が自分たちで自己調整しながら家庭学習に取り組むことを提言
- ◇学校ごとの家庭学習の手引きを活用するだけでなく検証し改善していくように提言
- ◇端末の持ち帰りに関しての呼びかけ
- ◇端末でできる課題（有料）の購入を検討

家庭学習に課題がある児童生徒への支援について

- ◇課題をできない・してこない児童生徒へは、その背景・理由を理解して指導する
- ◇課題の達成状況を把握し、個別指導・個別支援につなげる
- ◇テスト等への日期的な見通しを持たせる
- ◇「自分でできること」を目標とさせる

家庭・地域への啓発・連携

- ◇小中連携による家庭学習週間の設定（テスト期間等、計画的に実施）
- ◇幼児期段階へも呼びかけ（親子読書等）
- ◇年度当初に啓発冊子（学習の手引き等）の配布、懇談時に説明（意義・内容・時間 等）
- ◇重点期間中、横断幕を掲示
- ◇保護者からも声をかけてもらえるよう学校だより・学年だよりで啓発

「やましろ授業スタンダード」改訂版の内容について確認しました。

○現在の「やましろ授業スタンダード」の基本的な柱（7つの項目）については変更せず、「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び」と「協働的な学び」「認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ」「育てたい資質・能力と単元計画」等、授業づくりの上で指針となる内容を掲載することを確認しました。

○リーフレットは、A4版見開き8ページ、教師向けの内容で作成することを確認しました。

○詳細については、今後の学力向上対策会議で検討・協議することを確認しました。

山城地方学力向上の取組について確認しました。

○「山城地方教育実践フォーラム」について、今後、京田辺市教育委員会、培良中学校、草内小学校と連携しながら授業づくりを進めていくことを確認しました。

○各市町（広域連合）教育委員会より推薦していただいた「学力向上を目指す実践事例集 第31集」に実践を掲載する小・中学校について確認しました。

